



熊野市立五郷小学校

# いさと小だより

学校づくりのテーマ「明日も来たいと思う学校」第8号 2021年10月28日



## みんなで かいっぱい やりきりました！～五郷地区合同運動会～

日の経つのは早くて1か月近く前になりますが、五郷地区合同運動会を振り返りますと、子どもたちはそれまでの練習の成果を十分に発揮して、のびのびと活動していたことを思い起こします。まさに、子どもたちが主人公の運動会だったのではないのでしょうか。



「徒競走」では、一生懸命な走りが立派でした。名前を呼ばれた時の会場に響く元気な「はい！」の返事も素晴らしかったです。「いさとっ子リレー」では、4チームのそれぞれの特徴ある気合いの掛け声が微笑ましく、それが一人ひとりの力走につながっていました。障害物競走の「いさとんぴっく」でも、いくつもの関門を乗り越えて、最後はダンボールのキャピラやボールを載せて運ぶ聖火ランナーなど、どれになるかの“運”もあって、子どもたちは張り切ってやっていました。



そして、子どもたちみんなが最も練習に力を入れてきた「ダンス 2021～夜に駆ける～」。演技に集中した表情、楽しそうな笑顔、はじけるような動き…、見事なダンスを披露してくれたと思います。5・6年生の4人の見せ場も「さすが！」という感じで、とても素敵でした。



5・6年生がリーダーシップを発揮して、1～4年生が一生懸命に協力していました。運動会をやり遂げた子どもたちの姿から、このあとの活動にも、みんなが前向きで、明るく協力し合いながら取り組んでいってくれることと、大いに期待が持てました。地域の方や保護者の皆様には、子どもたちの活躍にあたたかい声援をいただきまして本当に有難うございました。また、いろいろな競技への参加で盛り上げていただき、係の仕事で支えていただきました。重ねてお礼申し上げます。



## 11月の予定



日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	月	亀山市立加太小との交流【5・6年生】	17	水	3校オンライン交流会【5・6年生】
2	火		18	木	
3	水	文化の日	19	金	SC来校 4限授業
4	木		20	土	焼きいも&発表&親子レク
5	金	4限授業	21	日	
6	土		22	月	集金袋配布
7	日		23	火	勤労感謝の日
8	月		24	水	
9	火		25	木	
10	水		26	金	委員会活動【4～6年生】
11	木		27	土	
12	金	4限授業	28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	修学旅行1日目 5・6年生
15	月		◎17日(木)の交流会は、修学旅行前の、飛鳥小・新鹿小とのオンラインでの交流会です。		
16	火				

加太小学校の6年生8人が、修学旅行のコースで湯の谷の「刀鍛冶工房」を見学する際に、五郷小学校に立ち寄ってくれます。わずかな時間の予定ですが、楽しい時間になればと思います。先日、オンラインで顔合わせをしました。

## 楽しく教えてもらい 遊んでももらいました ～教職大学院生の木村先生～

運動会前日の10月1日から14日までの2週間、五郷小学校には、三重大学教職大学院生の木村弘孝先生に実習に来ていただきました。実習と言っても現職教員でさらに専門性を磨くために教職大学院で研究されている方なので、子どもたちにとっては「新しい先生」でした。2日目には早速運動会に参加していただいて、子どもたちに溶け込んでくれていました。明るく週には、子どもたちは、授業をしてもらったり、そばに付いてサポートしてもらったり、昼休みに徒競走やドッチビーで遊んでもらったり…、とても楽しい2週間を過ごしました。

14日(木)、木村先生とお別れをしなければならない日、子ども会が中心になって「お楽しみ会」を行いました。「Believe」の歌のプレゼントの後、「じゃんけん列車」を楽しんで、そのあと、一人ひとりがお世話になったお礼の気持ちを伝えました。寂しさから泣き出してしまっ言葉に出来ない子もいて、木村先生も涙する場面がありました。



木村先生は、一人ひとりに手描きのかわいいキャラクターが載ったメッセージカードをプレゼントして、アカペラで「勇気100%」を歌っていただきました。そして最後に、お別れのお話の中で、「みんなと一緒に過ごすようになって、いつもあったかひものを感じていました。それは何なのかな?とずうっと考えていたのですが、それはみんなの心にある優しさだと分かりました。みんなは本当に優しいよね。」とあたたかい言葉を贈っていただきました。

## 「全国学力・学習状況調査」の結果の概況と今後に向けて

4月に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果につきましては、10月1日付で熊野市教育委員会より公表されました。この調査は、「教科に関する調査」「児童質問紙調査」「学校質問紙調査」の3つから構成されています。平均正答率は下表の通りです。

教科	熊野市	三重県	全国
国語	59%	64%	64.7%
算数	66%	69%	70.2%

「全国学力・学習状況調査」は義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、教育施策のせいかと課題を検証し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。しかしながら、調査によって測定できるのは学力の特定部分のさらに一部分であり、学校における教育活動の一側面です。このことを考慮しつつ、今後の本校の子どもたちの学習活動の充実に生かしていきたいと考えています。

さて、本校の結果についてですが、少人数であるため、具体的な数値は出しませんが、概況や傾向をお伝えします。



### 教科に関する調査

#### 【国語】

本校に限ったことではなく、また、今年度に限ったことでもないのですが、書くことや読むことに課題が見いだせると思います。授業や諸活動、普段の生活においても、文章を書く場合には、一つ一つの文の主語や述語、修飾語の関係が整っていることが大切です。文章においては、文意や言葉のつながりを意識しながら書き表すことに慣れていくことが大切だと思います。また、自分の考えを述べるということにも慣れていく必要があります。相手や、物語の登場人物の考えや思いに理解を示しつつ、根拠をもって自分の考えを述べるが大切です。

文章に触れる機会が大事なことは、読書の勧めにおいても言われることです。物語の本や説明の本など、いろいろな文章に触れることが、読む力だけではなく書く力にもつながると考えます。

#### 【算数】

いくつかある領域の中で、「数と計算」と「図形」について課題があると思います。

「数と計算」については、計算の方法を理解し使えることはもとより、計算の速さが求められ、正確さが大切です。四則計算においては、低学年からの積み重ねが大切です。また、今回は、道のり・時間・速さの分野で出題がありましたが、文章題を解き慣れることも大事であると思います。

「図形」については、三角形、平行四辺形の面積の求め方など基本的なことは理解していると思われます。今回は、直角三角形を組み合わせた図形や二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積について出題されています。学習したことを身につけた上で、図形に直線をかき加えたり、図形を立体的に想像したりするなど、試行錯誤しながら解いていく力を伸ばしていきたいと考えています。

### 児童質問紙調査

普段の様子から自分自身を評価するのに控えめな面が見られますので、それが回答にも表れているように思います。

「同じくらいの時刻に起きる」ことや「きちんと朝食をとる」ことなどの点では、生活のリズムが良好のようです。「将来に対して夢や目標を持つ」ことや「人の役に立つ人間になりたい」などの点で肯定的に捉えています。友だちや周囲の人との関わりにおいて、「いじめはいけないことである」とか「困っている人を進んで助ける」、などの点でも肯定的に考えています。また、コミュニケーションの点においても、「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」傾向にあることが伺えました。

課題として努力が必要なのは、家庭学習の時間を増やすことです。これは経年の課題ですが、将来の目標や夢を実現させたいという思いが原動力になることが望ましいと思いますが、学習の時間を決めて習慣にすることも大事です。そして、読書を含めて学習に充てる時間を持つためには、ゲーム機器を使った遊びの時間をコントロールすることが必要だと思います。「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」という項目では、やや消極的な回答でしたが、「難しいこと」のとらえ方が厳しめであったのではないかと思います。学校生活の様子からは積極性が感じられるので、こちらの傾向を大切にしたいと思います。

### 学校質問紙調査

学校（教員）が教育活動を振り返る質問紙です。研究や研修については、熊野市の学力向上事業の指定を受けて一昨年度と昨年度の2年間で取り組んだ研究活動の成果と課題を踏まえて、複式授業の充実を進めていきたいと考えています。また地域学習においても、体験活動の前後の学習も進めながら中身を充実させたいと考えています。

子どもたち一人ひとりの基礎基本の学力をしっかりと身につけさせ、さらに発展的な問題を解く力も育てていきたいと思っています。ICTの活用についても、子どもたちの意欲の向上や理解の促進につながるよう進めていきたいと考えています。

## 通学路をきれいにさせていただきました！

10月20日（水）朝8時半ごろ、出張で保育所の横を通りかかったところ、子どもたちの通学路にたまった落ち葉をきれいに掃いてくれている方を見かけました。とても嬉しい気持ちになり、車を降りてお話しさせていただいたところ、この方は西久保厚生さんとおっしゃいまして、「普段、ここをいつも自転車で通りながら、落ち葉がたまってきたなあど気になってたので…」と聞かせていただきました。



子どもたちが毎日の登下校で通る道を、安全で気持ちのいい状態にさせていただいて、本当に有難いことだと感じました。今回は、たまたまお会いすることができましたが、気づかないところで、いろいろな方が子どもたちや学校のサポートをしてくださっているのだらうなあと思いました。